

令和6年11月20日

## 学校職員の働き方改革の推進のために

根羽村教育委員会

### 1 教職員の勤務状況の実態

根羽学園ではタイムカードとICTによる勤務時間の客観的把握を行っている。教職員18名の直近1ヶ月の在校等時間外勤務時間平均は43時間12分であった。時間外勤務時間が45時間以上の教職員は9名、80時間を超える教職員は1名であった。

### 2 働き方改革を進めるための具体策

学校職員の1ヶ月あたりの在校等時間外勤務時間平均が40時間以下となるよう、また80時間を超える時間外勤務をしなければならないことがないよう、教育委員会として以下のように取り組む。

- ① 前期課程においては、複式学級を極力解消するためにできる限りの教職員を村費で配置する。
- ② 後期課程においては、非免許で授業を受け持つ教職員を極力解消するため、できる限りの教職員を村費で配置する。
- ③ 学校長と連携し、長時間勤務による健康障害防止のための医師による面接指導について周知し、実施体制を整備する。また、学校保健委員会と学校安全衛生委員会を機能させ、定期的な開催計画の策定や職員一人一人の勤務状況や健康状況、人間ドックの受信状況について確認し、改善方法を検討できるようにする。
- ④ 学校長に会議時間の縮減や行事等の精選、定時退勤日の設定等に向けた具体的なアドバイスを行い、登校日数や授業時間数、長期休業の日数についても共有・調整し、放課後の時間や授業準備の時間を確保するなど、ゆとりある学校生活を送ることができるよう支援する。
- ⑤ 校務のデジタル化を促進し、効率化が図れるよう支援する。
- ⑥ スクールサポートスタッフの活用方法についてさらに研究し効果的に活用する。